

一般社団法人ドコデモヒロバ

【テ - マ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / **グリーン社会の実現** / その他（ ）【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / **その他（ 遊休地 ）**【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / **その他（ 推進体制の構築・運営 ）**

移動する植栽と暫定広場を活用した都市緑化と地域活性化

移動する植栽と暫定広場を活用し、杉並区の遊休地や公園、公共空間の有効活用を促進。緑豊かな都市空間の創出と地域の賑わい創出を両立し、持続可能な都市モデルを提案致します。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

・都市部における緑地不足の改善

ワークショップを実施し、**地域住民が自ら植樹や緑地の維持管理に関与できる仕組み**を作る。

・遊休地の有効活用による地域の賑わい創出

遊休地や公共空間を、**地域の憩いの場やイベントスペースとして転換**。地域住民が自由に利用できる公園やカフェスペースを設置し、利便性を向上。

・環境負荷を軽減する持続可能な都市設計

固定された公園ではなく、移動可能な植栽、可変性の高い暫定広場を組み合わせることで、都市環境に柔軟に適應できる緑地空間を創出。

・地域コミュニティの活性化と住民参画の促進

地域住民や他団体と協力し、環境学習の場として暫定広場を活用。**企業のCSR活動とも連携**し、持続的な運営資金の確保を図る。

②提案内容（1/2）

■プライベートとパブリックの垣根を超える「旅する木」プロジェクト

移動できないと考えられがちな植栽をポットに入れ移動可能にして、普段は商店の軒先や自分の家の庭など、プライベートな場にあり、**住民によって維持管理**されながら、**イベントが行われるときには、まちなかの広場に集まって**、パブリックな緑となり、多くの人を楽しませる。

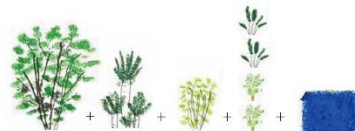
プライベートとパブリックを行ったり来たりするこれまでにない「**まちなかの緑の仕組み**」を作っていきます。

タイプは二種類

玄関？ベランダ？どこで育てる？



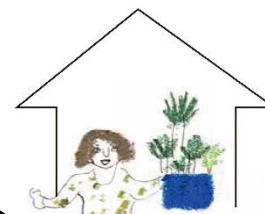
内 容
中木 1本（1.5m程度）
低木 1本（0.5m程度）
下草 2種（20cm程度）
Aタイプ3万円



内 容
中木 1本（2m程度）
低木 1本（1m程度）
下草 2種（20cm程度）
Bタイプ5万円

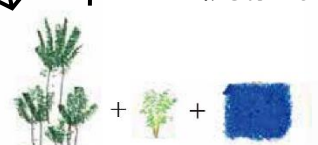


地元の造園屋さんで
好きな木を選びます



普段はご自宅やお店でまち
を彩る緑になります

イベントのときは、一堂に集まり、
緑豊かな広場をつくります



プロの造園家と一緒に維持管理や寄せ植
えの仕方を学びます



一般社団法人ドコデモヒロバ

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / **グリーン社会の実現** / その他（ ）【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / **その他（ 遊休地 ）**【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / **その他（ 推進体制の構築・運営 ）**

移動する植栽と暫定広場を活用した都市緑化と地域活性化

移動する植栽と暫定広場を活用し、杉並区の遊休地や公園、公共空間の有効活用を促進。緑豊かな都市空間の創出と地域の賑わい創出を両立し、持続可能な都市モデルを提案致します。

②提案内容（2/2）

■『プロジェクト』から『ムーブメント』へ 私たちが『まちを楽しむ』ための暫定広場GOODPARK

「旅する木」プロジェクトから生まれた賑わいを官民連携で遊休地や公園の活用を推進し、**地域に適したデザインでコミュニティスペースを創出**



GOODPARK全景

地域住民が参加できるワークショップやイベントを開催し、**愛着のある空間**を形成する



有名パリスタによるライブ

落ち葉はイベントを開催し集め、郊外の有機農家の手によって堆肥化され、有機野菜として市街地に
戻ってくるという**循環**を実現

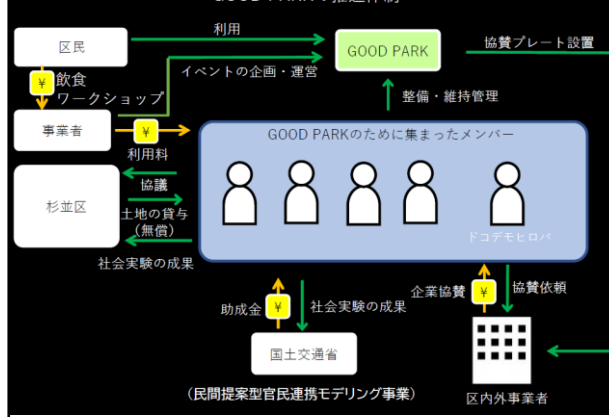


落ち葉プール&落ち葉は堆肥に

【先進性】

完全自立型運営

GOOD PARKの推進体制



【有効性】

集客機会の増加: 人口3万2千の埼玉寄居町でGOODPARKを2か月間開催。ほぼ毎週イベント開催され、400名以上の参加。イベント開催された地域の商店や飲食店の集客増加。

企業のブランド向上: 環境貢献活動への参加により、企業のイメージ向上やCSR活動の推進が可能。

新たな事業機会の創出: GOODPARK内でのキッチンカーや屋外広告の展開、コワーキングスペースの提供など、ビジネスチャンスが拡大。

【汎用性】

循環型植栽管理

郊外農家との連携で、落ち葉を堆肥化、有機野菜として市街地に還元させる循環型植栽管理を実践する。

- 市街地で落ち葉拾いをすれば、ゴミになってしまうものを、郊外の有機農家が堆肥にて使用致します。
- 有機農家が実践する資源循環の世界の中に、「街」を組み込む
- 将来的な街路樹管理手法に応用
- 維持管理の負担を軽減し、官民連携による持続的な運用を実現